



市内イベントを随時更新中▶十和田市ブログ「駒の里から」
http://citytowada.exblog.jp/

▶十和田市写真館 http://www.city.towada.lg.jp/youkoso/photo/top.htm

地域に開かれた病院を目指そう 市立中央病院ふれあいまつり

11月10日、市立中央病院で「第1回十和田市立中央病院ふれあいまつり」が開催されました。このイベントは、より地域に開かれた病院づくりを目指すことを目的に同実行委員会（丹野弘晃実行委員長）が行ったものです。まつりでは、頸部エコー・内視鏡手術機器などの体験コーナーや健康・お薬の相談コーナー、糖尿病教室などのブースが開設されたほか、院内見学ツアーなどが行われ、多くのかたで賑わっていました。



血液細胞を覗いてみたり、手軽に体験できるコーナーが設けられました

十和田市子ども劇団20周年 記念公演「たるべの森」

11月10日、市民文化センターで十和田市子ども劇団20周年記念公演「たるべの森」（市教育委員会主催）が開催されました。

「たるべの森」は、十和田湖・宇樽部を舞台にしたオリジナルストーリーで、自然の大切さ、自然との共存を考えさせられる作品です。

出演した劇団員らは日頃の練習の成果を發揮し、終幕後には訪れた観客から大きな拍手が送られていました。



劇団員は小学4年から中学3年生。大人顔負けの演技や息の合ったダンスを披露しました

十和田湖のPRキャラクター 南そボーヤが初お披露目

11月9日に十和田湖畔休屋で行われた「十和田湖ひめます祭り」で、十和田湖のイメージキャラクター「南そボーヤ」の着ぐるみがお披露目となりました。

南そボーヤは平成20年に十和田湖の県境が確定したことに伴い、十和田市と秋田県小坂町の協働で十和田湖の昔話「南祖坊の伝説」から生まれたキャラクターです。

今後、十和田湖畔でのイベントに参加するなど、十和田湖のPR活動を行います。



十和田市のゆるキャラが全員集合しました（写真中央が南そボーヤ）

農業の活性化に向けて 市長が若手農業経営者と懇談

10月30日、市役所で小山田市長と市内若手農業経営者の懇談会が開催されました。

これは、若手農業経営者から今後の農業についての考えを聴いて、施策に生かすことを目的に市が行ったものです。参加者から「市内に野菜の加工場ができないか」「農地を相互に利用する仕組みはできないか」などさまざまな意見が出され、6次産業化や土壌診断、PR方法など多岐にわたって意見交換が行われました。



農業について活発な意見交換が行われました

認知症について正しい知識を 認知症サポーター研修

10月28日、県立十和田西高校（堀米潤校長）で、1年生を対象に「認知証サポーター研修」が開催されました。この研修は、市と十和田湖地区の町内会長などで構成される十和田湖地区高齢者支援ネットワーク会が主催したもので、認知症の原因や認知症のかたへの接し方などについて学びました。参加した米田暖佳さんは「認知症の人たちに偏見を持たないで、その人の気持ちを考えて接していきたいです」と、話しました。



寸劇では、認知症高齢者に扮するかたへの対応にとまどいながらも、思いやりの心を持って接していました

人馬一体となって紅葉の十和田を駆け抜ける 第20回十和田駒フェスタ

10月26・27日の2日間、中央公園緑地などで「第20回十和田駒フェスタ」が開催されました。駒フェスタは平成6年から始まり、今回で20回目の節目を迎えました。

「全日本流鏑馬選手権」には、北海道から広島県まで60人の選手が参加。華やかな衣装を身にまとった騎手が、紅葉に彩られた木々の間を人馬一体となって駆け抜けました。また、乗馬体験ショーや馬車運行などが行われ、訪れたかたがたは馬との触れ合いを楽しみました。



見事に的を射抜くと観客から大きな拍手が送られていました

Pick up

B-1 グランプリin豊川 十和田を全国に発信 十和田バラ焼きゼミナール堂々第2位を獲得

11月9、10日に愛知県豊川市で行われた「第8回ご当地グルメでまちおこしの祭典！B-1 グランプリ in 豊川」において、十和田バラ焼きゼミナールが見事2位のシルバーグランプリを獲得しました。

バラゼミは今回で4回目の出展で、初のベスト3入りを果たしました。

バラゼミのブースでは、十和田西高生25人も参加し、受付や調理などを担当しました。お決まりの「ボンジュール！」「ラビアンローズ！（バラ色の人生を！）」と、来場者に声を掛け、十和田の街自慢を行うなど元気よくブースを盛り上げました。開始から行列も途切れることなく最大1時間待ちとなるなど大盛況でした。

木村長敏学長は「みんなと一丸になって頑張ってきた成果が表れました。これからも、もっと十和田を発信していきたい」と、喜びを話しました。

今回のB-1 グランプリには全国から過去最多の64団体が出展し、2日間で約58万1千人を動員しました。また、ゴールドグランプリは、福島県浪江町の浪江焼麺太国が獲得しました。次回B-1 グランプリは福島県郡山市で開催されます。



1 シルバーグランプリを獲得した十和田バラ焼きゼミナールの皆さん
2 3 十和田西高生の皆さんが元気にブースを盛り上げました